



## ネットアーカイブ対応「超」ファイリングシステムの アクセスレベルコントロール機能

ネットアーカイブ対応「超」ファイリングシステムを使用すると、どのユーザーに対してどのドキュメントへのアクセスを許可するか、といったようなアクセスレベルコントロールが可能となります。次に示すのはごく単純な例ですが、「部署横断的なプロジェクトレベルのドキュメントグループへのアクセス権を設定する」というような柔軟性に富んだ設定も可能です。

### ユーザーレベル設定

- 事業本部長：レベル75
- 部長：レベル60
- 課長：レベル40
- 営業担当：レベル10

### ドキュメントグループ設定

- 事業部グループ
- 営業部グループ
- 営業課グループ
- 営業グループ

ある営業部の設定

ユーザー数、ドキュメントグループ数には制限はなく、ユーザーレベル設定は0～100まで1単位です。上記を模式化すると...

# ネットアーカイブ対応「超」ファイリングシステムの アクセスレベルコントロール概念図(一例)

